

令和2年度教育研究活動報告書

氏名	小野環	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士	職位	教授
専門分野	絵画・インスタレーション		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	デッサン基礎実習、総合基礎実習、構成実習、油画実習Ⅰ、油画実習Ⅱ、油画実習Ⅲ、古美術研究演習、卒業制作、空間造形論、美術表現入門、尾道学入門
大学院	油画研究ⅠB、油画研究ⅡB、絵画総合演習
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）絵画、立体作品の制作・研究	
（2）場の特性を活かしたインスタレーション作品の制作・研究	
（3）文化的背景を活かした新たな表現活動の場の創出	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30	
R3 《ひろしまトリエンナーレとはなんだったのか》 共著、2021年、NPO法人ART BASE百島、 『連続対話+企画展示「百代の過客」』 《再編街》 川崎市岡本太郎美術館、百科事典、美術全集、構造用合板、金具、接着剤	
R2 《再編層》 尾道市立大学美術館 油彩、綿布パネル 9点セット 《再編層》 尾道市立大学美術館 油彩、綿布パネル 《再編層》 665ギャラリー 油彩、綿布パネル 9点セット 《再編層》 884ギャラリー 油彩、綿布パネル 9点セット 《Scab》 ※共三上清仁 尾道ガウディハウス、尾道 木目調トタン、木材 《Scab》 ※共三上清仁 尾道ガウディハウス、尾道 鏡面ステンレス、モルタル、塗料 《Encyclopedia Facadism》 UCLスレード美術大学、レーザープリント、ボール紙、木材	
R1 《再編 増頁》 “The Book of Sand” altern’art cy、書籍（教科書、社会科日本史資料集、接着剤 《蜘蛛の糸》 “The Book of Sand” gallery lala Tokyo、書籍、接着剤 《Re-edited stratum 03》、《Re-edited stratum 05》、《Re-edited stratum 06》、《Re-edited stratum 07》、 《Re-edited stratum 08》、《Re-edited stratum 09》、《Re-edited stratum 12》、《Re-edited stratum 13》、 《Re-edited stratum 14》、《Re-edited stratum 16》、《Re-edited stratum 17》 油彩、キャンバス 《Trace of House 30》《Trace of House 31》油彩、キャンバス 《Scab Jerryfish》 ※共三上清仁 尾道市立美術館FROM HERE TO BEYOND、尾道 瓦礫、廃品、ブルーシート、 木材、ライトほか 《Scab》 ※共三上清仁CCOクリエイティブセンター大阪、大阪 瓦礫、セイタカアワダチソウ 《Re-Frame》 CCOクリエイティブセンター大阪、大阪 木材、紙、写真、アクリル、サイズ可変	
H30 《Trace of House》 「静界」大新美術館、台南 油彩、キャンバス、油彩、キャンバス53cm×45.5cm 15枚組 “Exchange Exhibition Onomichi City University x National Chiayi University”、 《Scab 無意識の表面》共三上清仁 ストック=オン=トレント、airspace gallery airspace galleryにおける インスタレーション。ブルーシート、植物、廃棄物、インク、アクリル塗料 《Scab》※ 共三上清仁 ストック=オン=トレント、ストックオントレント、ブラウンフィールドにおける サイトスペシフィックインスタレーション苔 《公団住宅》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 百科事典、接着剤	

《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」 東京都美術館、東京 油粘土、アクリル絵具、アクリル板、ベニア
《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」 東京都美術館、東京 油粘土、書籍『原色日本の美術<28>近代の建築・彫刻・工芸』、電球、構造用合板、ターンテーブル
《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」 東京都美術館、東京 油粘土、地球儀、構造用合板
《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」 東京都美術館、東京 油粘土、書籍『岡山の彫像（岡山文庫（138））、電球、構造用合板ほか
《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」 東京都美術館、東京 油粘土、書籍『原色日本の美術<28>近代の建築・彫刻・工芸』、構造用合板、ターンテーブル
《粘土還り》 読みの違い 「複数形の世界のはじまりに」 東京都美術館 書籍『日本の画家～近代洋画～（カラーブックス270）』2冊、接着剤、引き出し、アクリル板
《Territory》シリーズ なかた美術館、尾道市 油彩,キャンバス 53cm×45.5cm 6点
《Trace of House》シリーズ なかた美術館、尾道市 油彩,キャンバス 53cm×45.5cm 7点

H29以前の主な研究業績

- (1) 1999年 キツネ作戦／フタハ画廊、東京
- (2) 2003年 VOCA展／上野の森美術館、東京
- (3) 2008年 「gardens 植木鉢の冒険」／ふくやま美術館、福山
- (4) 2008年 tina.b 2008 プラハ国際コンテンポラリーアートフェスティバル／プラハ市内各所、チェコ共和国※
- (5) 2013年 「ユートピアの迷子石」／Utopiana、ジュネーブ※

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H30・R1・R2

所属学会・所属団体 役職等と任期

H30 H29, H28 AIR Onomichi 実行委員会代表 NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事

学術表彰（本年度を含む過去3年間の研究業績）

令和3年 第24回岡本太郎現代美術賞展 特別賞

IV 社会活動

1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）

(1) AIR Onomichiでアーティストを招聘。

(2) NPO尾道空き家再生プロジェクトの副代表理事として活動

公開講座	0回
講演会	2回
出前授業	4回
その他（ ）	回

1. 出前授業「尾道空き家再生」、尾道商業高校、尾道
2. 出前授業「尾道空き家再生」フィールドワーク編、尾道商業高校、尾道
3. 出前授業「吉和の歴史と現在」、尾道商業高校、尾道
4. 出前授業「吉和の歴史と現在」フィールドワーク編、3/3尾道商業高校、吉和エリア、尾道
5. 第12回栄光OBフォーラム on Line「美術活動で他者と出会う～これまでの活動を振り返って～」3/6 オンライン
6. 尾道まちづくり発表会「失建築～幻の劇場を探して」3/19 松翠園大広間、尾道

NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事として、旧市街斜面地の空き家の再生活動に参加。
「小林和作旧居」の取り壊し問題と関わり、年度内での取り壊しにブレーキをかけ「小林和作旧居再起動計画」を立案。
住民説明会を行った。（12/4）
AIR Onomichi実行委員会代表として旧市街斜面地の空き家・廃墟での美術活動を推進。

2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）

	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
(1) 尾道市関係	平成30年～尾道市空き家対策委員会	委員長	2回